



HYOGOスポーツ新展開検討委員会

第2回 地域スポーツ分科会 資料

2024年1月17日

兵庫県県民生活部 スポーツ振興課

新展開への方向性

1 スポーツ空間のシェアリング



行政や民間、学校が保有する
空きスペース・空き時間を開放したら

- ・事故発生の責任問題は？
- ・防犯をどうする？
- ・どうやって管理運営する？

学校は開放されているようで、されていない

- ・県立学校体育施設開放校
148校/151校 (98%)
- ・各学校開放回数
0日：80校 1～29日：42校
30日以上：26校 (うち単独団体の利用：19校)

新展開への方向性

1 スポーツ空間のシェアリング



簡単シェアリング
予約システム構築へ

スマホから、誰でも簡単、手軽に
予約できるシステムはどんなものか

- ・誰が運営するのがいいのか？
- ・施設の情報はどうなものか？
- ・受付期間・時期などのルールは？

新展開への方向性

2 マルチスポーツの普及 指導しないスポーツの提唱



人口減少時代の
スポーツの普及とは

子ども達の数が減る人口減少時代
選手も指導者もシェアリングに

- ・指導者の意識を改革するには？
- ・選手の意識を改革するには？
- ・保護者の意識を改革するには？

新展開への方向性

3 中学校運動部活動の地域移行・地域連携

2025年度末までの公立中学校における「休日部活動の地域移行」改革推進期間にどう対応していくのか

・競技種目による格差をどうするか？

〔地域移行がすぐにできる競技〕

体操競技、水泳、陸上競技、
剣道、スキー等の個人種目

〔地域移行するのが困難な競技〕

球技などの団体種目

・地域による格差をどうするか？

〔地域移行がすぐにできる地域〕

スポーツ環境が多様な都市的地域

〔地域移行するのが困難な地域〕

少子高齢化が加速している中山間
地域や郡部

4 地域スポーツのあり方改革に向けて 具体的な取り組み（案）

（その1）

県民がスポーツできる空きスペース・
空き時間を洗い出す

- ①活用していないスペース・時間帯
の掘り起こし
- ②スポーツ活動実施可否の判断
- ③スポーツ活動に活用できるスペース
の整備

（その2）

HYOGOスポーツのモデル地域を設定して、
デモンストレーション事業を展開

- ①課題解決対策案の立案
- ②新たな課題の確認
- ③住民の意見・ニーズの把握